

分野連携アクティブ・ラーニング対話集会(物理・化学・生物)
2015年12月27日(日)

アクティブ・ラーニング形式による 初年次教育の効果と課題

別府大学文学部人間関係学科 西村靖史

アクティブ・ラーニング形式による初年次教育の効果と課題

1. 初年次教育とアクティブ・ラーニング

2. 学生の主体性を育む取組み

3. 効果と課題



1. 初年次教育とアクティブ・ラーニング

初年次教育

大学導入教育（アカデミック・スキル）

教養教育

リメディアル教育

アクティブ・ラーニング

双方向性の担保 ミニッツペーパー、クリッカー

PBL FSP 協同学習 反転授業 産学連携授業

地域連携授業

2. 学生の主体性を育む取組み

人間関係学科での取組み

人間って、何だろう？

人を学び、地域の人に寄り添う

「心理」、「社会福祉」、「教育・生涯スポーツ」の分野から、社会における人間関係を多面的に考察し、地域社会の活性化や再生に携わる人材の育成を目的とする。

2. 学生の主体性を育む取組み（事例）

卒業生

就職後定着指導・職場訪問・専門的後方支援
ボランティア要請

4年次

卒業論文中間報告会（6月）⇒1～4年生参加
卒業論文指導・就職活動支援

3年次

実習報告会（11月）→1年～4年生・教員
実習施設担当者の参加
コース専門科目における現場実践ボランティア
就職フェア（4年生のメッセージ）

2年次

発展演習（地域連携授業－卒業生からの支援）
実習事前指導（専門職領域リソースの活用）

1年次

情報リテラシー（パソコンスキルの徹底）
導入演習（協同学習、アカデミックスキル）
基礎演習（プレゼンテーション、卒業生授業）

正課外
プログラム

学生主体
プロジェクト

学科内サークル

履修登録支援

ボランティア活動

研究会活動 etc.

2. 学生の主体性を育む取組み（事例1）

1年生（前期）

協同学習
学びに対する認識の転換

学修スキルの徹底
学修スキルの獲得



2. 学生の主体性を育む取組み（事例2）

卒業生

自己紹介
大学進学以前
大学生時代の振り返り
就職活動・進学体験
1年生（自分）へ伝えたいこと
今、頑張っていることなど



1年生（後期）

自分の身近な将来像の構築
大学生活の具体的な目標

人間的に魅力を感じる卒業生たち
多様な社会で頑張っている
専門職・一般職・スポーツ系など
自分の目的や意思を明確に持っている
自分の将来に対して、懸命である
決して、いわゆる成功者ではない？

教員

大学教育の結果の検討
社会の問題への気づき

2. 学生の主体性を育む取組み（事例2）



2. 学生の主体性を育む取組み（事例3）



専門職領域リソースの活用
卒業生、専門職従事者、先輩

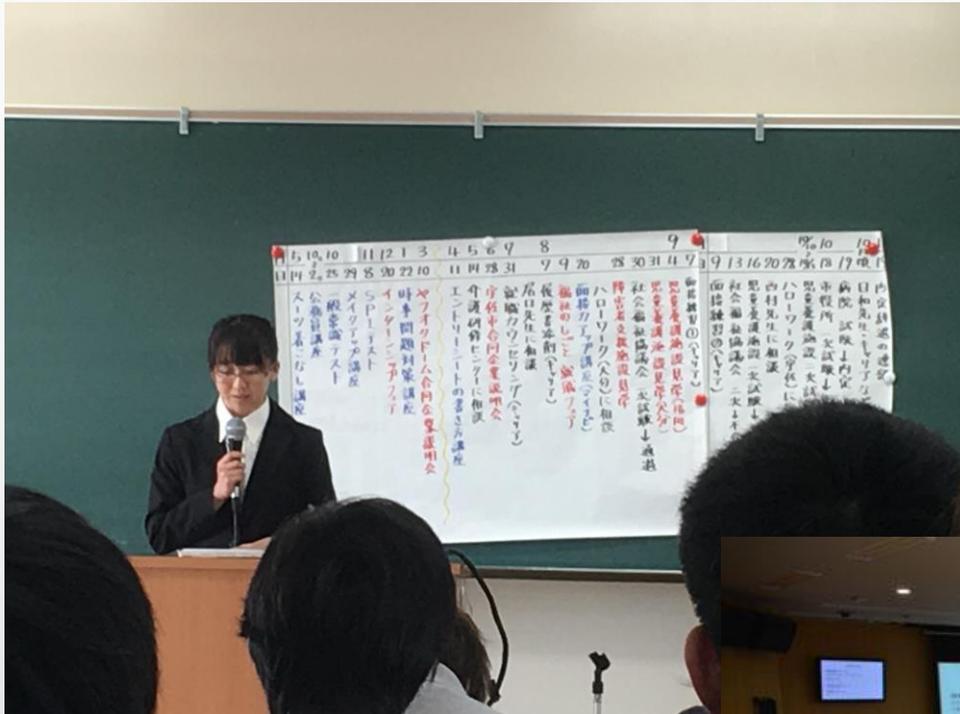


2. 学生の主体性を育む取組み（事例4）



3年次専門課程での学外実践ボランティアの準備

2. 学生の主体性を育む取組み（事例5）



4年生の就職体験

実習報告会



2. 学生の主体性を育む取組み（事例6）



卒業論文中間報告

2. 学生の主体性を育む取組み（事例 国際交流）



韓国留学生との交流会



2. 学生の主体性を育む取組み（事例）

卒業生

就職後定着指導・職場訪問・専門的後方支援
ボランティア要請

4年次

卒業論文中間報告会（6月）⇒1～4年生参加
卒業論文指導・就職活動支援

3年次

実習報告会（11月）→1年～4年生・教員
実習施設担当者の参加
コース専門科目における現場実践ボランティア
就職フェア（4年生のメッセージ）

2年次

発展演習（地域連携授業－卒業生からの支援）
実習事前指導（専門職領域リソースの活用）

1年次

情報リテラシー（パソコンスキルの徹底）
導入演習（協同学習、アカデミックスキル）
基礎演習（プレゼンテーション、卒業生授業）

正課外
プログラム

学生主体
プロジェクト

学科内サークル

履修登録支援

ボランティア活動

研究会活動

国際交流 etc.

3. 効果と課題（1／3）

初年次教育におけるアクティブ・ラーニングの重要性

大学における専門知識の学修の基盤

能動的学習者への転換

＝ 学生のやる気・やってみようという気持ちに着火する

外部の専門家や有識者、卒業生の授業への協力

＝ 多様な刺激による学修における社会性の構築

振り返って

大学の教養科目におけるアクティブ・ラーニング構築

ヒントは、社会性の再構築に可能性

3. 効果と課題（2 / 3）

今後の課題

1. 大学教育における物理学、化学、生物学の学修目的
（学位プログラムにおける位置付け）
 2. アクティブ・ラーニングとカリキュラムの整合性
（連動性・連携性）
 3. 学修に対する評価
新たな評価軸の構築 ⇔ 短期的成果と将来性
- ⇒ 誰もが未経験の扉の前に立っている
新たな試行錯誤のはじまりは価値あるもの

3. 効果と課題（3／3）

問題に気づき、その解決のために自ら、学び、教えあい、探求することを継続できる人へ成長する



ご清聴ありがとうございます。